

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK25)

(函館水試担当地区)

2012年12月20日

函館水産試験場調査研究部

-: 欠測

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	属の他 [†] 細胞/L	
静内 太平洋中部 19.5	12/13	0	11.0	33.91	0	0	0	0	0	
		10	11.0	33.91	0	0	0	0	0	
		20	10.7	33.91	0	0	0	0	0	
		30	10.7	33.91	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 15.0	12/12	0	8.8	33.50	0	0	0	0	0	
		5	8.7	33.61	0	0	0	0	0	
		10	8.8	33.81	0	0	0	0	0	
		15	8.4	33.84	0	0	0	0	0	
		20	7.9	33.85	0	0	0	0	0	
	25	7.7	33.84	0	0	0	0	0		
知内 津軽海峡 12.0	12/11	0	11.2	33.81	0	0	0	0	0	
		10	11.2	33.83	0	0	0	0	0	
		20	11.2	33.83	0	0	0	0	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii デイノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラクサス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos デイノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス ロトンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、津軽海峡には出現していません。

水温は12月中旬は、太平洋中部では10.7~11.0°C、噴火湾東部では7.7~8.8°C、津軽海峡では11.2°Cです。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC65)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年12月19日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	細胞/L	
標津 (6.0)	12/15	0	5.7	32.45	0	0	0	10	Dro
		5	5.7	32.46	0	0	0	10	Dro
		10	5.7	32.47	0	0	0	0	
		15	5.7	32.47	0	0	0	20	Dro

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ=旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフイネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

12月中旬の根室海峡(標津)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・ロツンダータが出現しています。▪

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC64)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年12月12日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (2.5)	12/11	0	4.6	31.77	0	0	0	10	Di
		5	5.2	32.62	0	0	30	0	
		10	5.7	32.75	0	0	10	0	
		14	5.9	32.76	0	0	0	10	Di

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

12月中旬の太平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータとインファンディブラがわずかに出現しています。*

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK24)

(函館水試担当地区)

2012年12月7日

函館水産試験場調査研究部

-: 欠測

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	属の他 [†] 細胞/L	
森 噴火湾西部 9.0	11/19	0	12.2	33.09	0	0	0	0	10	Dt10
		10	12.7	33.60	0	0	0	0	20	Dt20
		20	13.1	33.70	0	0	0	0	0	
		30	13.0	33.74	0	0	0	0	10	Dt10
鹿部 噴火湾湾口部 11.5	11/30	0	11.1	33.56	0	0	0	0	10	Dt10
		5	11.1	33.63	0	0	0	0	0	
		10	11.1	33.61	0	0	0	0	0	
		15	11.1	33.61	0	0	0	0	10	Dru10
		20	11.1	33.61	0	0	0	0	0	
		25	11.1	33.61	0	0	0	0	0	
		30	11.3	33.67	0	0	0	0	0	
40	11.7	33.77	0	0	0	0	0			
知内 津軽海峡 11.0	11/16	0	16.5	33.48	0	0	0	0	0	
		10	16.5	33.56	0	0	0	0	0	
		20	16.5	33.56	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス アキミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。
下痢性貝毒プランクトンは津軽海峡に出現していません。

水温は11月中下旬は、噴火湾西部では12.2~13.1°C、噴火湾湾口部では11.1~11.7°C、津軽海峡では16.5°Cです。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC63)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2012年12月6日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
サロマ湖 (5.5)	12/3	0	4.1	30.91	0	0	150	0
		3	4.1	30.93	0	0	70	0
		6	4.1	30.93	0	0	80	0
		9	4.0	30.98	0	0	40	0
		12	3.9	31.05	0	0	40	0
		15	3.7	31.11	0	0	60	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

12月上旬のサロマ湖海域では、
麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータがやや多く出現しています。*

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報 (AB 17)

(オホーツク海域・能取湖)

2012年11月29日

網走水産試験場調査研究部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
能取湖 (4.0)	11/28	0	5.2	31.49	0	10	150	0
		10	5.7	31.71	0	0	140	0

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

能取湖定点(11/28)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

能取湖定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス アキュミナータが最高150細胞/L出現しています。また、デイノフィシス フォルティが少数出現しています。下痢性貝毒の毒性値に注意が必要です。

能取湖定点の表面水温は5.2°C、10m層の水温は5.7°Cでした。

(担当:平野和夫・清河 進)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC62)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年11月22日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
江差 (15.0)	11/15	0	16.6	33.52	0	0	0	0
		10	16.7	33.60	0	0	0	0
		20	16.5	33.83	0	0	0	0
		30	15.7	34.04	0	0	0	0
増毛 (13.0)	11/14	0	13.7	33.00	0	0	0	0
		10	13.7	33.05	0	0	0	0
		20	13.8	33.15	0	0	0	0
		30	13.9	33.27	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウヰヰガ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

11月中旬の日本海南部(江差)および同北部(増毛)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現しませんでした。▪

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC61)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年11月19日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 (2.0)	11/13	0	10.9	30.01	0	0	0	0
		5	11.1	32.32	0	0	0	0
		10	11.1	32.64	0	0	0	0
		15	11.1	32.70	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ=旧名 プロトコオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

11月中旬の根室海峡(標津)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現しませんでした。*

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC60)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年11月15日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
常呂 (5.0)	11/12	0	9.3	32.03	0	0	0	0
		10	9.1	32.41	0	0	0	0
		20	10.9	32.97	0	0	0	0
		30	11.1	33.11	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK23)

(函館水試担当地区)

2012年11月15日

函館水産試験場調査研究部

-: 欠測

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 17.0	11/13	0	16.0	33.65	0	0	0	10	0	
		10	16.0	33.71	0	0	0	0	0	
		20	16.1	33.71	0	0	0	0	0	
		30	16.0	33.73	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 12.5	11/5	0	14.3	33.34	0	0	0	0	0	
		5	14.2	33.38	0	0	0	0	0	
		10	14.1	33.57	0	0	0	0	0	
		15	14.0	33.78	0	0	0	0	0	
		20	14.1	33.78	0	0	0	0	0	
		25	14.1	33.80	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 4.7	11/13	0	12.7	31.44	0	0	0	0	60	Dt60
		5	13.6	33.13	0	0	0	0	40	Dt40
		10	13.6	33.15	0	0	0	0	10	Dt10
		15	13.6	33.19	0	0	0	0	90	Dt90
		20	13.6	33.22	0	0	0	0	0	
		25	13.6	33.27	0	0	0	0	30	Dt10, Dc20
		30	13.6	33.43	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンテブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトゥンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部には出現していません。

水温は11月中旬は、太平洋中部では16.0~16.1°C、噴火湾東部では14.0~14.3°C、噴火湾西部では12.7~13.6°Cです。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC59)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年11月12日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (1.5)	11/9	0	10.6	27.55	0	10	40	0
		5	10.9	32.97	0	0	0	0
		10	10.9	33.09	0	0	0	0
		13	10.9	33.12	0	0	0	0
猿払 (-)	11/6	0	13.1	33.92	0	10	0	0
		10	12.9	33.98	0	0	0	0
		15	12.5	33.92	0	0	0	0
		20	12.1	34.02	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 *プロトコニオラックス・タマレンシス*

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウヰヰカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジヰイ

コメント

11月上旬の厚岸および猿払海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンもは、厚岸でデイノフィシス・フォルティとデイノフィシス・アキュミナータが、猿払でデイノフィシス・フォルティが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC58)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2012年11月8日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
サロマ湖 (3.0)	11/5	0	11.3	32.70	0	0	10	0
		3	11.3	32.71	0	0	10	0
		6	11.3	32.71	0	0	0	0
		9	11.3	32.78	0	0	0	0
		12	11.4	32.85	0	0	0	0
		15	11.4	32.88	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、サロマ湖でデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC57)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年11月7日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
浜益 (6.0)	10/31	0	15.3	32.39	0	0	0	0	
		10	15.8	33.65	0	0	0	0	
		20	15.9	33.89	0	0	0	10	Di
		30	14.9	33.83	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ=旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

10月下旬の石狩湾(浜益)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・インファンディブラがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報 (AB 16)

(オホーツク海域・能取湖)

2012年11月2日

網走水産試験場調査研究部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (5.7)	10/30	0	12.7	33.38	0	10	0	10 Drt	
		10	12.7	33.38	0	0	0	30 Di10,Drt10,Dm10	

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

能取湖定点 (10/30) では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

能取湖定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス フォルティ、デイノフィシス インファンディブラ、デイノフィシス ロツンダータ、デイノフィシス ミトラが少数出現しています。

能取湖定点の表面水温・10m層水温はともに12.7°Cでした。

(担当: 平野和夫・清河 進)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC56)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年10月31日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 (7.0)	10/25	0	14.5	33.46	0	0	0	0
		5	14.5	33.48	0	0	0	0
		10	14.5	33.48	0	0	0	0
		15	14.5	33.48	0	10	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ=旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

10月下旬の根室海峡(標津)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK22)

(函館水試担当地区)

2012年10月30日

函館水産試験場調査研究部

-: 欠測

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	属の他 [†] 細胞/L	
森 噴火湾西部 11.5	10/15	0	19.9	32.93	0	0	0	0	10	Dt10
		10	19.9	32.94	0	0	0	0	100	Dt100
		20	19.9	32.95	0	0	0	0	100	Dt100
		30	19.9	32.95	0	0	0	0	100	Dt100
八雲 噴火湾西部 12.3	10/22	0	17.4	32.90	0	0	0	0	0	
		5	17.4	32.93	0	0	0	0	60	Dt60
		10	17.3	32.97	0	0	0	0	0	
		15	15.2	33.69	0	0	0	0	0	
		20	14.9	33.87	0	0	0	0	0	
		30	14.5	33.90	0	0	0	0	0	
鹿部 噴火湾湾口部 14.0	10/26	0	16.6	33.29	0	0	0	0	0	
		5	16.6	33.30	0	0	0	0	40	Dt40
		10	16.6	33.32	0	0	0	0	0	
		15	16.5	33.37	0	0	0	0	40	Dt40
		20	16.6	33.39	0	0	0	0	70	Dt70
		25	16.6	33.40	0	0	0	0	50	Dt40, Di10
		30	16.6	33.44	0	0	0	0	40	Dt30, Dro10
40	16.0	33.68	0	0	0	0	10	Dru10		
知内 津軽海峡 13.0	10/24	0	17.8	33.63	0	0	0	0	10	Dm10
		10	17.6	33.67	0	0	0	0	0	
		20	17.5	33.68	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 フロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロテウンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部、津軽海峡に出現しています。

水温は10月下旬は、噴火湾西部では13.7~19.9°C、噴火湾湾口部では16.0~16.6°C、津軽海峡では17.5~17.8°Cです。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC55)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年10月23日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
江差 (10.0)	10/17	0	20.3	33.35	0	0	0	0
		10	20.1	33.45	0	0	0	0
		20	19.6	33.61	0	0	0	0
		30	13.9	34.25	0	0	0	0
猿払 (-)	10/17	0	18.5	33.81	0	0	0	0
		10	18.6	33.84	0	0	0	0
		15	18.6	33.84	0	0	0	0
		20	18.6	33.83	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサントリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサントリウム・アフィネ (無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウエジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

10月中旬の日本海南部(江差)および宗谷北部(猿払)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。*

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC54)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年10月18日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
常呂 (14.0)	10/15	0	17.4	33.69	0	0	0	0
		10	17.4	33.76	0	0	0	0
		20	17.3	33.77	0	0	0	0
		30	17.3	33.78	0	0	0	0
サロマ湖 (3.8)	10/15	0	16.4	32.14	0	40	0	0
		3	16.8	32.80	0	0	10	0
		6	16.8	32.82	0	10	0	0
		9	16.8	32.84	0	10	0	0
		12	16.8	32.85	0	0	0	0
		15	16.6	32.87	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痹性貝毒プランクトンAtは、出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、サロマ湖でデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK21)

(函館水試担当地区)

2012年10月15日

函館水産試験場調査研究部

-: 欠測

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	属の他 [†] 細胞/L	
静内 太平洋中部 10.0	10/10	0	19.8	33.62	0	0	0	0	0	
		10	19.2	33.68	0	0	0	0	0	
		20	19.1	33.68	0	0	0	0	0	
		30	18.4	33.77	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 12.5	10/9	0	20.7	32.68	0	0	0	0	0	
		5	20.7	32.76	0	0	0	0	60	Dt60
		10	21.1	33.29	0	0	0	0	10	Dt10
		15	20.4	33.44	0	0	0	0	0	
		20	20.1	33.49	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 12.0	9/20	0	24.4	30.79	0	0	0	0	10	Dru10
		10	24.0	31.91	0	0	0	0	10	Dt10
		20	19.9	32.70	0	0	0	0	20	Dt20
		30	10.3	32.63	0	0	0	0	0	
		0	25.0	30.54	0	0	0	0	20	Dm10, Dru10
八雲 噴火湾西部 5.2	9/20	5	24.8	31.11	0	0	0	0	10	Dc10
		10	24.2	31.72	0	0	0	0	60	Dm40, Dt20
		15	23.8	32.10	0	0	0	0	0	
		20	23.3	32.50	0	0	0	0	0	
		25	21.4	32.87	0	0	0	0	20	Dt20
		30	17.1	32.69	0	0	0	0	0	
鹿部 噴火湾湾口部 13.5	9/25	0	23.2	32.49	0	0	0	0	0	
		5	23.2	32.52	0	0	0	0	10	Dm10
		10	23.1	33.42	0	0	0	0	10	Dm10
		15	22.9	33.51	0	0	0	0	10	Di10
		20	22.8	33.58	0	0	0	0	10	Dm10
		25	22.6	33.61	0	0	0	0	20	Dru10, Dro10
		30	16.2	33.25	0	0	0	0	10	Di10
40	11.5	32.96	0	0	0	0	10	Dt10		

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウヰンガ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテユンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。
下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部には出現していません。

水温は9月下旬～10月上旬は、太平洋中部では18.4～19.8°C、噴火湾東部では18.2～22.1°C、噴火湾西部では10.3～25.0°C、噴火湾湾口部では11.5～23.2°Cです。

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK20)

(函館水試担当地区)

2012年10月15日

函館水産試験場調査研究部

-: 欠測

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	9/10	0	23.1	33.27	0	0	0	0	0	
太平洋中部		10	23.3	33.42	0	0	0	0	0	
20.0		20	22.6	33.66	0	0	0	0	10	Dru10
		30	17.4	33.73	0	0	0	0	0	
虻田	9/8	0	24.0	31.95	0	0	0	0	0	
噴火湾東部		5	23.9	32.17	0	0	0	0	0	
16.5		10	22.2	32.78	0	0	0	0	0	
		15	19.3	32.80	0	0	0	0	220	Dt200, Dm20
		20	15.6	32.46	0	0	0	0	0	
		25	15.5	33.34	0	0	0	0	0	
知内	9/7	0	26.1	33.65	0	0	0	0	0	
津軽海峡		10	25.9	33.74	0	0	0	0	0	
19.0		20	24.7	33.81	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトゴニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェイカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテユンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部に出現しています。

水温は9月上旬は、太平洋中部では17.4~23.1°C、噴火湾東部では15.5~24.0°C、津軽海峡では24.7~26.1°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC53)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年10月9日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
浜益 (6.5)	10/2	0	22.7	32.97	0	0	0	0	Dro
		10	22.8	33.45	0	0	0	10	
		20	23.0	33.65	0	0	0	0	
		30	23.0	33.73	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ=旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

10月上旬の石狩湾(浜益)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・ロツンダータがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC52)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年10月5日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
厚岸 (4.0)	10/4	0	17.3	32.25	0	140	110	20	DnDm
		5	17.3	32.35	0	100	10	40	Dro30,Dm10
		10	17.1	32.79	0	40	70	40	Dro10,Dm30
		13	16.6	33.02	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ=旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

10月上旬の太平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・フォルティとアキュミナータがやや多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC51)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年9月28日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
江差 (24.0)	9/24	0	26.1	33.12	0	0	0	0
		10	25.7	33.20	0	0	0	0
		20	25.6	33.19	0	0	0	0
		30	25.2	33.25	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 フロコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

9月下旬の日本海南部(江差)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報 (AB 15)

(オホーツク海域・能取湖)

2012年9月25日

網走水産試験場調査研究部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (7.4)	9/21	0	22.0	33.03	0	0	0	120	Dm
		10	21.3	33.35	0	20	0	60	Drt20,Dm40

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

能取湖定点(9/21)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

能取湖定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス ミトラが最高120細胞/L出現しています。また、デイノフィシス フォルティ、デイノフィシス ロツンダータが少数出現しています。下痢性貝毒の毒性値に注意が必要です。

能取湖定点の表面水温は22.0°C、10m層の水温は21.3°Cでした。

(担当:平野和夫・清河 進)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC50)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年9月24日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
標津 (5.0)	9/18	0	18.9	32.66	0	10	0	10	Dro
		5	18.7	32.69	0	30	0	10	Dro
		10	18.7	32.71	0	10	30	0	
		15	18.5	33.18	0	10	0	10	Dro

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

9月の標津海域では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、標津でデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータおよびデイノフィシス・ロツンダータとデイノフィシス・ミトラが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC49)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2012年9月21日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
増毛 (22.0)	9/12	0	23.7	33.43	0	0	0	0
		10	23.6	33.58	0	0	0	0
		20	23.4	33.68	0	0	0	0
		30	22.1	33.81	0	0	0	0
猿払 —	9/11	0	22.0	33.62	0	0	0	0
		10	21.8	33.69	0	0	0	0
		15	21.8	33.69	0	0	0	0
		20	21.5	33.70	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス・ノルウヰジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

コメント

8月の増毛、猿払海域では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC48)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2012年9月7日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
常呂 (11.0)	9/3	0	21.1	33.57	0	0	0	10	Dro
		10	19.4	33.64	0	0	0	20	Dm
		20	18.3	33.72	0	0	0	0	
		30	17.6	33.73	0	0	0	0	
サロマ湖 (6.5)	9/3	0	22.1	33.09	0	0	0	10	Dm
		3	22.0	33.08	0	0	0	0	
		6	21.1	33.03	0	0	0	0	
		9	20.1	33.17	0	20	0	10	Dm
		12	18.9	33.15	0	10	0	10	Dro
		15	16.5	33.21	0	90	0	30	Dro

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェーガ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、常呂で デイノフィシス・ロツンダータとデイノフィシス・ミトラが、サロマ湖でデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・ミトラが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC47)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年9月5日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*			D属の他種
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (4.5)	9/3	0	20.1	31.86	0	0	10	0	
		5	16.9	32.38	0	10	0	10	Di
		10	14.2	32.50	0	0	0	0	
		13	13.0	32.71	0	10	0	10	Dn

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

9月上旬の厚岸海域で、麻痹性貝毒プランクトンは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・インファンディブラおよびデイノフィシス・ノルヴェジカが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報 (AB 14)

(オホーツク海域・能取湖)

2012年9月3日

網走水産試験場調査研究部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (3.6)	8/29	0	22.5	32.70	0	0	20	10 Dm	
		10	18.6	33.30	0	70	170	80 Drt	

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

能取湖定点 (8/29) では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

能取湖定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス アキュミナータが最高170細胞/L出現しています。また、デイノフィシス フォルティ、デイノフィシス ロツンダータ、デイノフィシス ミトラが少数出現しています。下痢性貝毒の毒性値に注意が必要です。

能取湖定点の表面水温は22.5°C、10m層の水温は18.6°Cでした。

(担当: 平野和夫・清河 進)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC46)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年8月30日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (17.0)	8/22	0	26.6	33.84	0	0	0	0	Dro
		10	25.5	33.83	0	0	0	0	
		20	23.3	33.90	0	0	0	10	
		30	16.6	34.22	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

8月下旬の江差海域で、麻痹性貝毒プランクトンは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・ロツンダータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC45)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年8月28日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
浜益 (3.8)	8/21	0	23.3	29.60	0	0	0	0	Dro20,Dm10
		10	22.0	33.15	0	0	0	30	
		20	21.3	33.57	0	0	0	0	
		30	19.8	33.91	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

8月下旬の浜益海域で、麻痹性貝毒プランクトンは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・ロツンダータとデイノフィシス・ミトラが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC44)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年8月27日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
頓別	8/17	0	18.2	33.62	0	0	0	0
—		10	18.0	33.65	0	0	0	0
		20	17.4	33.72	0	0	0	0
		30	16.9	33.66	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

8月下旬の頓別海域で、麻痹性貝毒プランクトンは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK19)

(函館水試担当地区)

2012年8月24日

函館水産試験場調査研究部

-: 欠測

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					<i>At</i> 細胞/L	<i>A.o.</i> 細胞/L	<i>D.fortii</i> 細胞/L	<i>D.acum.</i> 細胞/L	<i>D</i> 属の他種 細胞/L	
森 噴火湾西部 12.0	8/17	0	21.8	31.82	0	0	0	0	140	Dt140
		10	21.0	31.92	0	0	0	40	150	Dt120, Dro30
		20	16.7	32.62	0	0	10	10	50	Dt50
		30	11.4	32.54	0	0	10	20	40	Dt30, Di10
鹿部 噴火湾湾口部 12.5	8/22	0	23.0	32.07	0	0	0	0	30	Dt20, Dro10
		5	22.6	32.56	0	0	0	0	20	Dm20
		10	20.2	33.14	0	0	0	10	110	Dt110
		15	18.0	33.44	0	0	0	0	40	Dt40
		20	15.2	33.58	0	0	10	0	0	
		25	13.5	33.53	0	0	0	0	10	Dt10
		30	11.1	33.39	0	0	0	0	0	
40	8.7	33.24	0	0	0	0	0			

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシ フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシ・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシ ノルウェンガ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシ トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシ ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシ コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシ インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシ ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシ ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

水温は8月下旬は、噴火湾西部では11.4~21.8°C、噴火湾湾口部では8.7~23.0°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC43)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年8月23日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*			D属の他種
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (4.0)	8/22	0	18.7	31.28	0	0	90	0	Dn40,Dru20
		5	14.2	32.36	10	0	50	60	
		10	11.4	32.61	0	0	50	0	
		13	10.9	32.66	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

8月下旬の厚岸海域で、麻痹性貝毒プランクトンAtが少数出現しました。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルヴェジカおよび デイノフィシス ルジエイが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC42)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年8月23日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
標津 (7.5)	8/17	0	16.7	32.52	0	0	0	0	
		5	15.6	32.81	0	0	10	0	
		10	14.3	33.19	0	0	0	0	
		15	14.0	33.20	0	0	10	0	
増毛 (10.0)	8/17	0	22.0	32.62	0	0	0	10 Dro	
		10	21.7	33.96	0	0	0	20 Dm	
		20	21.6	33.96	0	0	0	30 Dro10,Dm20	
		30	18.8	34.01	0	0	0	10 Dro	
紋別 (10.0)	8/17	0	18.4	33.19	0	0	0	0	
		15	17.5	33.49	0	0	0	20 Dro	
		25	16.6	33.55	0	0	0	0	
		37.4	14.8	33.56	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

8月の標津、増毛、紋別海域では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、標津でディノフィシス・アキュミナータが、増毛でディノフィシス・ロツンダータとディノフィシス・ミトラが、紋別でディノフィシス・ロツンダータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC41)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年8月22日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
常呂 (15.0)	8/20	0	18.7	33.25	0	0	0	0	
		10	16.9	33.54	0	0	0	10	Dro
		20	16.5	33.62	0	0	0	10	Dro
		30	16.5	33.62	0	0	0	0	
サロマ湖 (5.0)	8/20	0	21.1	32.38	0	0	0	0	
		3	20.5	32.22	0	30	10	10	Dro
		6	19.0	32.80	0	20	0	0	
		9	18.3	33.23	0	10	0	0	
		12	16.9	33.00	0	0	0	0	
		15	15.8	33.02	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、常呂でで デイノフィシス・ロツンダータが、サロマ湖でデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ロツンダータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB 13)

(オホーツク海域・能取湖)

2012年8月22日

網走水産試験場調査研究部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
網走 (7.0)	8/20	0	18.5	33.09	0	0	20	10	Drt
		10	15.8	33.44	0	30	10	40	Di10,Drt30
		20	14.1	33.47	0	0	0	0	
		30	12.7	33.54	0	10	0	10	Dn

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンティブラ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

網走定点(8/20)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

網走定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス フォルティ、デイノフィシス アキュミナータ、デイノフィシス ノルウェジカ、デイノフィシス インファンティブラおよびデイノフィシス ロツンダータが少数出現しています。

網走定点の表面水温は18.5°C、30m層の水温は12.7°Cでした。

(担当:平野和夫・清河 進)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK18)

(函館水試担当地区)

2012年8月15日

函館水産試験場調査研究部

-: 欠測

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					<i>A.t.</i> 細胞/L	<i>A.o.</i> 細胞/L	<i>D.fortii</i> 細胞/L	<i>D.acum.</i> 細胞/L	<i>D</i> 属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 12.0	8/6	0	20.7	32.84	0	0	0	0	30	Dm20, Dro10
		10	19.7	33.24	0	0	0	10	80	Dt30, Dm20, Dro20, Dru10
		20	15.7	33.31	0	0	0	0	20	Dt10, Dm10
		30	12.8	33.44	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 9.0	8/9	0	21.3	31.62	0	0	0	0	30	Dt20, Dm10
		5	21.2	31.69	0	0	0	10	40	Dt40
		10	19.2	31.87	0	0	0	30	20	Dt20
		15	18.1	31.95	0	0	10	40	0	
		20	18.6	32.73	0	0	40	80	50	Dt40, Di10
25	15.6	32.69	0	0	20	60	100	Dt60, Di30, Dro10		
八雲 噴火湾西部 13.1	8/14	0	22.9	31.30	0	0	0	0	0	
		5	22.2	31.88	0	0	0	0	60	Dt40, Dm10, Dru10
		10	19.7	32.47	0	0	0	30	50	Dt20, Dm20, Dru10
		15	15.6	32.31	0	0	0	20	30	Dt30
		20	12.4	32.33	0	0	0	0	20	Dt20
		25	9.9	32.35	0	0	0	0	0	
30	7.4	32.44	0	0	0	0	50	Dn50		
知内 津軽海峡 15.0	8/8	0	22.8	33.85	0	0	0	0	0	
		10	22.3	33.91	0	0	0	0	0	
		20	21.1	33.97	0	0	0	0	10	Dro10

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォールティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ
 Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii
 Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルウェーガ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス
 Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウダータ
 Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンディブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ
 Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロトゥンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡に出現しています。

水温は8月上～中旬は、太平洋中部では12.8～20.7°C、噴火湾東部では15.6～21.3°C、噴火湾西部では7.4～22.9°C、津軽海峡では21.1～22.8°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC40)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年8月14日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払	8/7	0	18.0	33.81	0	0	0	0	
—		10	18.0	33.86	0	0	0	20	Dro20
		15	18.0	33.86	0	0	0	0	
		20	18.0	33.85	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

8月上旬の猿払海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・ロツンダータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC39)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2012年8月8日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (4.0)	8/6	0	15.7	31.17	10	10	60	0	
		5	12.9	32.13	0	0	130	110	Dn
		10	10.4	32.28	0	0	50	30	Dn
		13	9.2	32.46	0	0	0	0	

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス
 Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)
 Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

8月上旬の厚岸海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtが少数出現しました。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータおよびデイノフィシス・ノルヴェジカが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK17)

(函館水試担当地区)

2012年8月1日

函館水産試験場調査研究部

-: 欠測

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 11.5	7/30	0	21.2	31.63	0	0	0	0	0	
		5	16.8	31.85	0	0	0	20	90	Dt90
		10	15.5	32.51	0	0	0	90	120	Dt120
		15	15.5	33.11	0	0	40	70	180	Dt140, Di40
		20	13.9	33.27	0	0	160	180	60	Dt10, Di50
		25	12.9	33.31	0	0	90	220	10	Di10
森 噴火湾西部 9.5	7/25	0	17.8	31.75	0	0	0	80	50	Dt50
		10	13.3	32.05	0	0	0	70	20	Dt10, Di10
		20	9.2	32.46	0	0	0	0	10	Dn10
		30	5.8	32.62	0	0	0	10	10	Dn10
鹿部 噴火湾湾口部 9.5	7/25	0	17.9	31.87	0	0	0	230	100	Dt80, Di20
		5	14.8	32.10	0	0	0	90	80	Dt80
		10	11.7	32.42	0	0	10	70	30	Dt30
		15	9.8	32.80	10	0	20	80	20	Dn20
		20	8.9	32.90	0	0	10	20	20	Dn20
		25	8.2	32.94	0	0	0	40	60	Dn50
		30	7.1	32.97	0	0	0	0	0	
40	5.6	32.95	0	0	0	10	110	Dn110		

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* デイノフィス フォルティイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* デイノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 フロトゴニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* デイノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

水温は7月下旬は、噴火湾東部では12.9~21.2°C、噴火湾西部では5.8~17.8°C、噴火湾湾口部は5.6~17.9°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC38)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年8月1日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
標津 (6.0)	7/26	0	15.7	32.14	0	0	0	0	Di
		5	14.5	32.55	0	0	0	0	
		10	13.4	33.17	0	30	20	40	
		15	12.5	33.38	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ

コメント

7月下旬の根室海峡(標津)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティなどがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC37)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年7月30日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (11.0)	7/24	0	20.7	33.60	0	0	0	30	Dm
		10	20.5	33.68	0	0	0	0	
		20	20.5	33.69	0	0	0	0	
		30	20.5	33.74	0	0	0	20	Dm
浜益 (4.0)	7/24	0	21.1	32.11	0	0	0	0	Dro
		10	20.5	33.32	0	0	0	10	
		20	17.7	34.12	0	0	0	0	
		30	15.5	34.11	0	10	0	0	
増毛 (20.0)	7/24	0	20.0	33.97	0	0	0	0	
		10	19.6	33.87	0	0	0	0	
		20	17.7	34.06	0	0	0	0	
		30	16.5	34.09	0	0	0	0	
紋別 (7.0)	7/21	0	14.3	33.44	130	0	0	10	Di
		15	12.0	33.74	110	0	0	10	Dru
		25	11.9	33.74	100	0	0	0	
		35.8	10.3	33.73	40	0	0	20	Dru

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ

コメント

7月下旬の網走北部(紋別)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtが多く出現しています。
日本海南部(江差), 石狩湾(浜益)および日本海北部(増毛)海域では出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・フォルティなどがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC36)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年7月27日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (3.5)	7/25	0	14.4	31.17	10	0	10	0	
		5	11.5	31.99	0	0	0	10	Dn
		10	9.4	32.29	0	0	0	40	Dn
		13	8.0	32.40	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ

コメント

7月下旬の厚岸海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtが少数出現しました。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータおよびデイノフィシス・ノルヴェジカが出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB 12)

(オホーツク海域・能取湖)

2012年7月27日

網走水産試験場調査研究部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (6.2)	7/24	0	15.6	32.75	0	0	310	0	
		10	14.6	33.41	0	50	80	0	
網走 (13.0)	7/24	0	14.6	33.43	0	0	0	0	
		10	12.3	33.45	10	10	30	30 Dn10,Di20	
		20	11.8	33.59	30	0	20	10 Dn	
		30	11.3	33.57	10	0	10	10 Dn	

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

能取湖定点(7/24)麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

網走定点(7/24)では麻痺性貝毒プランクトンアレキサンドリウム タマレンセが少数出現しています。

能取湖定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス アキュミナータが最高310細胞/L出現しています。また、デイノフィシス フォルティが少数出現しています。下痢性貝毒の毒性値に注意が必要です。

網走定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス フォルティ、デイノフィシス アキュミナータ、デイノフィシス ノルヴェジカおよびデイノフィシス インファンディブラが少数出現しています。

能取湖定点の表面水温は15.6°C、10m層の水温は14.6°Cでした。

網走定点の表面水温は14.6°C、30m層の水温は11.3°Cでした。

(担当:平野和夫・清河 進)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK16)

(函館水試担当地区)

2012年7月24日

函館水産試験場調査研究部

-: 欠測

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		ワ属の他種 細胞/L	備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L		
静内 太平洋中部 7.0	7/17	0	17.6	33.01	0	0	10	0	20	Dt20
		10	15.9	33.44	0	0	80	0	40	Dt40
		20	13.3	33.63	0	0	10	10	10	Dt10
		30	12.5	33.70	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 -	7/10	0	-	-	0	0	0	130	10	Di10
		5	-	-	0	0	10	100	60	Di60
		10	-	-	10	0	0	40	80	Di20, Dn60
		15	-	-	30	0	0	40	40	Di10, Dn30
		20	-	-	0	0	0	10	90	Dn90
25	-	-	0	0	0	0	10	Dn10		
八雲 噴火湾西部 13.0	7/17	0	19.7	31.70	0	0	0	90	10	Di10
		5	18.1	31.87	0	0	0	290	40	Di10, Dt30
		10	15.9	31.93	0	0	0	110	70	Di10, Dt60
		15	12.5	31.93	0	0	0	90	10	Dn10
		20	11.3	32.10	40	0	0	60	80	Di20, Dt20, Dn40
		25	9.0	32.22	0	0	0	10	70	Dn70
30	6.6	32.41	0	10	0	10	10	Dru10		
知内 津軽海峡 13.0	7/18	0	19.4	33.53	0	0	0	0	0	
		10	11.8	34.14	0	0	0	0	0	
		20	11.1	34.22	0	0	0	0	10	Dru10

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 フロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロテユンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。
麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡に出現しています。

水温は7月中旬は、太平洋中部では12.5~17.6°C、噴火湾西部では6.6~19.7°C、津軽海峡では11.1~19.4°Cです。

噴火湾東部は機器故障のため欠測です。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC35)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年7月25日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払	7/17	0	13.4	33.83	0	30	0	10	Dro10
—		10	13.2	33.83	0	0	0	0	
		15	12.8	33.81	0	0	0	20	Di10,Dn10
		20	12.5	33.85	0	10	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ

コメント

7月上旬の猿払海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・インファンディブラおよびデイノフィシス・ノルヴェジカが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC34)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年7月19日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
増毛 (21.0)	7/12	0	18.8	33.44	0	0	0	0	
		10	16.8	33.76	0	0	0	0	
		20	16.4	34.06	0	0	0	0	
		30	13.2	33.87	0	0	0	0	
頓別 —	7/11	0	16.7	33.65	0	0	0	10	Dro
		10	15.2	33.71	0	0	0	0	
		20	14.3	33.80	0	0	0	0	
		30	12.8	33.83	0	0	0	0	
標津 (6.0)	7/12	0	11.2	32.05	90	0	0	30	Dn
		5	10.5	32.20	0	0	0	130	Dn
		10	8.2	32.95	0	0	0	160	Dn
		15	8.0	32.98	0	0	0	40	Dn
常呂 (12.0)	7/17	0	16.2	33.29	50	0	0	0	
		10	14.0	33.52	10	0	0	10	Di
		20	11.2	33.67	60	0	10	0	
		30	9.3	33.65	0	0	0	0	
サロマ湖 (5.0)	7/17	0	18.0	32.58	0	0	0	0	
		3	17.8	32.57	0	0	0	10	Dro
		6	17.8	32.57	0	0	0	0	
		9	15.9	33.31	0	0	10	0	
		12	14.4	33.21	0	0	0	0	
		15	13.8	33.52	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサントリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサントリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、標津と常呂で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、頓別でディノフィシス・ロツンダータが、標津でディノフィシス・ノルヴェジカが、常呂ではディノフィシス・アキュミナータとディノフィシス・インファンディブラが、サロマ湖ではディノフィシス・アキュミナータとディノフィシス・ロツンダータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC33)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年7月17日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (15.5)	7/10	0	19.4	34.19	0	0	0	10	Dro10
		10	18.0	34.22	0	0	0	20	Dro10, Dm10
		20	13.3	34.22	0	0	0	0	
		30	10.5	34.21	0	0	0	10	Dro10

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ

コメント

7月上旬の江差海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・ロツンダータとデイノフィシス・ミトラが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報 (AB 11)

(オホーツク海域・能取湖)

2012年7月11日

網走水産試験場調査研究部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (8.1)	7/5	0	17.4	33.24	10	20	60	10	Di
		10	13.7	33.66	0	0	130	0	

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

能取湖定点(7/5)では麻痺性貝毒プランクトンアレキサンドリウム・タマレンセが少数出現しています。

能取湖定点では下痢性貝毒プランクトンデイノフィシス・アキュミナータが最高130細胞/L出現しています。また、デイノフィシス・フォルティとデイノフィシス・インファンディブラが少数出現しています。下痢性貝毒の毒性値に注意が必要です。

能取湖定点の表面水温は17.4°C、10m層の水温は13.7°Cでした。

(担当:平野和夫・清河 進)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC32)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年7月11日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (5.8)	7/10	0	14.7	31.33	0	0	0	10	Dn
		5	11.5	31.88	0	0	0	40	Dn
		10	8.1	32.39	0	0	0	0	
		13	7.3	32.39	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフイネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは太平洋東部(厚岸)海域で出現していません。

下痢性貝毒プランクトンにはデイノフィシス・ノルヴェジカが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC31)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年7月10日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払	7/3	0	13.5	33.82	0	0	0	0
—		10	13.1	33.79	0	0	0	0
		15	10.6	33.95	0	0	0	0
		20	10.6	33.96	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ

コメント

7月上旬の猿払海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK15)

(函館水試担当地区)

2012年7月10日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 12.0	7/3	0	17.0	32.79	10	0	0	30	0	
		10	15.4	33.50	0	0	10	10	20	Di10, Dt10
		20	13.4	33.52	0	0	40	0	30	Di10, Dt20
		30	12.2	33.66	0	0	190	0	0	
森 噴火湾西部 11.0	7/4	0	16.4	31.26	0	0	0	190	0	
		10	12.9	31.58	0	0	10	150	160	Dn15, Di10
		20	11.8	32.11	0	0	10	60	70	Dn60, Di10
鹿部 噴火湾湾口部 12.5	###	0	17.1	31.42	0	0	10	130	20	Di10, Dn10
		5	14.1	31.46	0	0	0	150	20	Di10, Dn10
		10	12.7	31.63	0	0	10	40	120	Di10, Dn100, Dro10
		15	11.6	31.92	0	0	0	20	120	Di10, Dn110
		20	10.3	32.26	0	0	0	70	50	Dn40, Dru10
		25	9.2	32.48	0	0	0	130	80	Dn80
		30	7.9	32.72	0	0	0	100	110	Dn110
40	5.9	32.67	0	0	0	30	130	Dn130		

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 フロトニコオラクス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロテユンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

水温は6月下旬～7月上旬は、太平洋中部では12.2～17.0°C、噴火湾西部では10.8～16.4°C、噴火湾湾口部では5.9～17.1°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC30)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2012年7月5日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
常呂 (13.0)	7/2	0	13.6	33.72	0	0	0	0
		10	11.5	33.91	0	0	0	0
		20	11.0	33.87	0	0	0	0
		30	10.6	33.83	0	0	0	0
サロマ湖 (7.5)	7/2	0	15.8	33.06	0	0	0	0
		3	15.8	33.04	0	0	10	0
		6	13.8	32.99	0	0	0	0
		9	12.7	33.14	0	0	10	0
		12	11.7	33.33	0	0	0	0
		15	11.2	33.36	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス・ノルウェジカ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、サロマ湖で ディノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC29)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年7月4日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
江差 (14.0)	6/28	0	17.2	34.24	0	0	0	0
		10	14.6	34.15	0	0	0	0
		20	12.0	34.13	0	0	0	0
		30	10.2	34.14	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ

コメント

6月下旬の江差海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC28)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年7月2日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
浜益 (7.5)	6/25	0	17.3	32.13	0	0	0	0
		10	13.5	33.77	0	0	0	0
		20	12.8	33.88	0	0	0	0
		30	11.5	33.89	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ

コメント

6月下旬の石狩湾(浜益)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC27)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年6月29日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (19.0)	6/28	0	13.5	30.60	30	0	20	10	Dn
		5	8.8	32.10	10	0	0	370	Dn
		10	6.9	32.31	0	0	10	210	Dn
		13	6.0	32.44	0	0	0	10	Dn

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは太平洋東部(厚岸)海域で最高30細胞/L出現しました。

下痢性貝毒プランクトンは主にデイノフィシス・ノルヴェジカが多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC26)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年6月28日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
増毛 (19.0)	6/21	0	15.6	33.18	0	0	0	0
		10	13.8	33.66	0	0	0	0
		20	12.0	33.83	0	0	0	0
		30	10.5	33.83	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ

コメント

増毛海域では麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも増毛海域で出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK14)

(函館水試担当地区)

2012年6月29日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲 噴火湾西部 12.8	6/25	0	15.1	31.42	0	0	0	420	70	Dn50, Dro10, Di10
		5	14.3	31.41	0	0	0	250	130	Dn80, Di40, Dt10
		10	12.5	31.52	10	0	0	90	150	Dn150
		15	12.3	31.64	0	10	0	240	300	Dn300
		20	11.3	31.88	0	30	0	230	220	Dn220
		25	10.1	31.97	0	10	0	140	70	Dn70
森 噴火湾西部 12.0	6/26	0	16.0	31.18	0	0	0	140	10	Dn10
		10	12.5	31.49	0	0	0	10	40	Dn40
		20	11.7	31.80	0	0	0	70	60	Dn60
		30	10.4	32.14	0	0	0	90	30	Dn30

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

水温は6月下旬は、噴火湾西部では7.2~16.0°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報 (AB 10)

(オホーツク海域・能取湖)

2012年6月26日

網走水産試験場調査研究部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (5.6)	6/25	0	12.9	32.93	0	10	50	20	Dn10,Drt10
		10	11.5	33.29	0	0	10	0	
網走 (8.0)	6/25	0	10.9	33.58	0	0	40	0	
		10	10.7	33.65	10	0	20	0	
		20	10.5	33.65	10	0	20	0	
		30	9.8	33.66	0	0	0	10	

At = *Alexandrium tamarense* アレキサントリウム・タマレンセ = 旧名 フロトゴニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサントリウム・アフィネ(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

能取湖定点(6/25)麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

網走定点(6/25)では麻痺性貝毒プランクトンアレキサントリウム タマレンセが少数出現しています。

能取湖定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス ノルウェジカおよび デイノフィシス・ロツンダータが少数出現しています。

網走定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス アキュミナータ とデイノフィシス ロツンダータが少数出現しています。

能取湖定点の表面水温は12.9°C、10m層の水温は11.5°Cでした。

網走定点の表面水温は10.9°C、30m層の水温は9.8°Cでした。

(担当: 平野和夫・清河 進)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC25)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2012年6月25日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払 (-)	6/18	0	11.1	33.78	0	0	0	0
		10	10.8	33.83	0	0	0	0
		15	10.7	33.82	0	0	0	0
		20	10.4	33.87	0	0	0	0
紋別 (9.0)	6/15	0	12.1	33.60	0	0	0	0
		15	9.1	33.79	0	0	0	0
		25	8.6	33.86	0	0	0	0
		35.8	8.5	33.85	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウヰジカ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、宗谷北部(猿払)および網走北部(紋別)海域では出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC24)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年6月20日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
常呂 (9.5)	6/18	0	11.9	33.46	10	0	0	0	Dro10
		10	10.2	33.76	10	0	0	0	
		20	9.4	33.82	0	0	0	10	
		30	9.4	33.82	0	0	0	0	
サロマ湖 (6.0)	6/18	0	13.4	32.27	0	0	0	0	
		3	13.2	32.72	0	0	0	0	
		6	12.1	33.14	0	0	0	0	
		9	11.2	33.14	0	0	0	0	
		12	10.0	33.24	0	0	0	0	
		15	8.7	33.07	0	0	0	0	
頓別 —	6/13	0	9.9	33.87	0	0	0	0	
		10	9.9	33.89	0	0	0	0	
		20	9.1	33.94	0	0	0	0	
		30	9.0	33.95	0	0	0	0	
標津 (6.0)	6/14	0	8.9	31.67	0	0	0	0	
		5	8.2	32.04	0	0	0	0	
		10	7.3	32.16	0	0	0	0	
		15	6.3	32.35	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ

コメント

麻痹性貝毒プランクトンAtは、常呂で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、常呂で ディノフィシス・ロツンダータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK13)

(函館水試担当地区)

2012年6月20日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	ワ属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 7.5	6/19	0	10.8	31.69	10	0	0	20	10	Dn10
		10	8.3	32.13	0	0	0	30	200	Dn190, Dro10
		20	4.7	32.85	0	0	0	0	20	Dn20
		30	4.1	32.99	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 9.5	6/18	0	14.7	30.98	0	0	0	110	10	Dn10
		5	13.6	31.31	0	0	0	90	90	Dn90
		10	12.7	31.38	0	0	0	120	250	Dn250
		15	11.2	31.58	0	0	0	80	130	Dn130
		20	10.1	31.67	0	20	0	150	230	Dn230
25	8.7	31.89	0	0	0	220	110	Dn110		
知内 津軽海峡 9.0	6/19	0	13.3	33.34	0	0	0	20	30	Dn10, Dro20
		10	12.4	33.67	0	0	10	10	10	Dn10
		20	12.3	33.68	0	0	0	0	30	Dn30

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 フロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテユンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、津軽海峡に出現しています。

水温は6月中旬は、太平洋中部では4.1～10.8°C、噴火湾東部では8.7～14.7°C、津軽海峡では12.3～13.3°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC23)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2012年6月18日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
江差 (14.0)	6/12	0	15.5	34.17	0	0	0	0
		10	13.7	34.14	0	0	0	0
		20	9.9	34.23	0	0	0	0
		30	8.5	34.19	0	0	0	0
増毛 (15.0)	6/11	0	17.5	32.53	0	0	0	0
		10	13.1	33.48	0	0	10	0
		20	11.4	33.73	0	0	0	0
		30	10.2	33.76	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウエジカ

コメント

江差、増毛海域では麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは増毛海域でわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC22)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年6月15日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (4.0)	6/13	0	10.6	31.45	60	0	30	290	Dn
		5	9.6	31.59	60	0	30	240	Dn
		10	6.9	32.16	20	0	0	140	Dn
		13	6.2	32.19	20	0	0	50	Dn

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、6月上旬の太平洋東部(厚岸)海域で、最高60細胞/L出現しました。

下痢性貝毒プランクトンは、厚岸でデイノフィシス・ノルヴェジカとアキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB 9)

(オホーツク海域・能取湖)

2012年6月14日

網走水産試験場調査研究部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
能取湖 (7.7)	6/7	0	13.3	32.22	0	0	70	0
		10	10.2	33.15	0	0	10	0

At = *Alexandrium tamarense* アレキサントリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサントリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェイカ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

能取湖定点(6/7)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

能取湖定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス アキュミナータが少数出現しています。

能取湖定点の表面水温は13.3°C、10m層の水温は10.2°Cでした。

(担当:平野和夫・清河 進)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC21)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年6月12日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払 (-)	6/5	0	10.5	33.24	0	0	0	0
		10	10.4	33.73	0	0	0	0
		15	10.4	33.74	0	0	0	0
		20	10.4	33.75	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プトコニオラククス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ

コメント

猿払海域では貝毒プランクトンは出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC20)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年6月11日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
常呂 (9.5)	6/4	0	12.0	33.11	0	0	0	0
		10	9.0	33.66	0	0	0	0
		20	8.9	33.70	0	0	0	0
		30	8.8	33.71	0	0	0	0
サロマ湖 (5.5)	6/4	0	13.1	31.41	0	0	70	0
		3	11.6	31.41	0	0	50	0
		6	8.1	32.22	0	0	40	0
		9	8.7	33.12	0	0	0	0
		12	9.0	32.94	0	0	10	0
		15	8.7	33.07	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス・ノルウェジカ

コメント

6月上旬の網走中部(常呂)およびサロマ湖では麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、サロマ湖でディノフィシス・アキュミナータが、出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK12)

(函館水試担当地区)

2012年6月8日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 9.5	6/7	0	10.1	32.27	0	10	0	0	0	
		10	10.2	32.70	0	0	0	0	0	
		20	9.5	32.98	0	0	0	0	0	
		30	4.7	32.80	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 11.0	6/4	0	11.8	31.26	20	0	0	30	0	
		5	11.6	31.37	0	0	0	250	10	Dn10
		10	11.0	31.43	0	0	0	310	90	Dn90
		15	8.5	31.69	0	10	0	150	200	Dn200
		20	7.5	31.97	0	0	0	70	90	Dn90
森 噴火湾西部 11.0	5/24	0	10.5	31.26	0	0	0	60	0	
		10	6.8	31.95	0	0	0	10	100	Dn90, Dro10
		20	5.3	32.29	0	0	0	0	60	Dn60
		30	4.9	32.54	0	0	0	10	20	Dn20
森 噴火湾西部 9.0	6/6	0	11.1	31.50	20	0	0	50	20	Dn20
		10	8.8	31.74	10	0	0	60	90	Dn90
		20	6.6	32.02	0	0	0	40	60	Dn60
		30	4.8	32.43	0	0	0	30	20	Dn20

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 フロトゴニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfelc

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* デイノフィシス トリホス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロテユンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部に出現していません。

水温は5月下旬~6月上旬は、太平洋中部では4.7~10.1°C、噴火湾東部では5.0~11.8°C、噴火湾西部では4.8~11.1°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC19)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2012年6月4日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
江差 (7.0)	5/29	0	12.2	33.83	0	0	0	0
		10	12.0	33.84	0	0	0	0
		20	10.5	34.18	0	0	0	0
		30	10.1	34.18	0	0	0	0
増毛 (17.5)	5/29	0	12.7	32.34	0	0	0	0
		10	10.1	33.63	0	0	0	0
		20	9.6	33.75	0	0	0	0
		30	8.7	33.92	0	0	0	0
標津 (4.5)	5/29	0	4.8	31.77	0	0	0	0
		5	3.9	31.81	0	0	0	0
		10	3.6	31.82	0	0	0	0
		15	3.6	31.81	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス
 Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)
 Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ
 Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス・インファンディブラ
 Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス・ノルウェジカ

コメント

江差、増毛、標津海域では麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB 8)

(オホーツク海域・能取湖)

2012年5月31日

網走水産試験場調査研究部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
能取湖 (5.9)	5/29	0	10.2	31.87	0	0	90	0
		10	8.2	32.45	0	0	90	0

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンダリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンダリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェイカ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

能取湖定点(5/29)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

能取湖定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス アキュミナータが少数出現しています。

能取湖定点の表面水温は10.2°C、10m層の水温は8.2°Cでした。

(担当:平野和夫・清河 進)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC18)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年5月31日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
浜益 (5.0)	5/24	0	12.0	32.70	0	0	0	0
		10	10.4	33.58	0	0	0	0
		20	9.9	33.70	0	0	0	0
		30	8.1	33.98	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ

コメント

麻痹性貝毒プランクトンAtは、5月下旬の浜益海域で出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、5月下旬の浜益海域で出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC17)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2012年5月28日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払 (-)	5/22	0	7.6	33.90	0	0	0	0	
		10	7.5	33.85	0	0	0	0	
		15	7.5	33.85	0	0	0	0	
		20	7.5	33.86	0	0	0	0	
厚岸 (5.0)	5/24	0	7.8	31.30	0	0	0	10	Dn
		5	7.0	31.25	10	0	10	30	Dn
		10	4.5	32.15	0	0	0	0	
		13	3.9	32.29	0	0	0	0	

*At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、5月下旬の太平洋東部(厚岸)海域で、10細胞/L出現しました。宗谷北部(猿払)海域では出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、厚岸でデイノフィシス・ノルヴェジカとアキュミナータがわずかに出現しています。猿払では出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC16)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2012年5月24日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
常呂 (8.0)	5/21	0	7.4	32.76	0	0	0	0
		10	5.2	32.83	0	0	20	0
		20	5.1	33.17	0	0	0	0
		30	5.1	33.22	0	0	0	0
サロマ湖 (4.5)	5/21	0	9.2	29.41	0	0	10	0
		3	8.8	30.16	0	0	20	0
		6	8.2	31.67	0	0	30	0
		9	7.7	31.73	0	0	0	0
		12	6.4	32.02	0	0	0	0
		15	6.2	32.18	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス・ノルウヰジカ

コメント

5月下旬の網走中部(常呂)およびサロマ湖では
 麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、常呂とサロマ湖でディノフィシス・アキュミナータが、
 出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK11)

(函館水試担当地区)

2012年5月23日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 4.6	5/21	0	7.4	30.62	0	0	0	0	10	Dn10
		10	4.8	31.51	0	20	0	0	170	Dn150, Dro20
		20	3.5	32.13	0	0	0	0	0	
		30	2.8	32.37	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 8.0	5/21	0	10.8	29.89	30	0	0	10	0	
		5	8.1	31.45	0	0	0	50	10	Dn10
		10	6.2	31.88	0	0	0	50	210	Dn210
		15	5.5	32.16	0	40	0	40	120	Dn120
		20	5.1	32.28	0	10	0	30	210	Dn210
	25	4.6	32.35	0	0	0	0	110	Dn110	
鹿部 噴火湾湾口部 9.0	5/21	0	9.4	31.51	0	0	0	40	20	Dn20
		5	8.2	31.96	0	0	0	10	30	Dn20, Dro10
		10	6.3	32.20	0	0	0	30	30	Dn20, Dro10
		15	5.7	32.37	0	0	0	10	20	Dn20
		20	5.4	32.51	0	0	0	0	0	
		25	4.7	32.60	0	0	0	0	0	
		30	3.5	32.67	0	0	0	0	20	Dn20
40	3.4	32.75	0	0	0	0	0			

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトゥンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾湾口部に出現しています。

水温は5月下旬は、太平洋中部では2.8~7.4°C、噴火湾東部では4.6~10.8°C、噴火湾湾口部では3.4~9.4°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC15)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2012年5月22日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
江差 (7.0)	5/15	0	10.3	33.78	0	0	0	0
		10	9.8	33.90	0	0	0	0
		20	9.3	34.03	0	0	0	0
		30	8.5	34.13	0	0	0	0
頓別 —	5/14	0	6.3	33.82	0	0	0	0
		10	5.9	33.93	0	0	0	0
		20	5.8	33.93	0	0	0	0
		30	5.8	33.94	0	0	10	0
標津 (7.0)	5/14	0	4.8	31.77	0	0	0	0
		5	3.9	31.81	0	0	0	10
		10	3.6	31.82	0	0	0	0
		15	3.6	31.81	0	0	0	0
紋別 (7.0)	5/14	0	7.4	33.32	0	0	10	0
		15	7.4	33.46	0	0	10	0
		25	7.4	33.46	0	0	10	0
		35.6	7.4	33.44	0	0	10	0

*At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス
 Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)
 Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ

コメント

江差、頓別、標津、紋別海域では麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、頓別と紋別でデイノフィシス・アキュミナータが、厚岸でデイノフィシス・ノルヴェジカが、それぞれわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB 7)

(オホーツク海域・能取湖)

2012年5月22日

網走水産試験場調査研究部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
網走 (7.0)	5/21	0	8.0	32.38	0	0	60	0
		10	6.6	33.12	0	0	50	0
		20	5.7	33.20	0	0	0	0
		30	5.6	33.19	0	0	0	0

At = *Alexandrium tamarense* アレキサン德里ウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティイ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェーガ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

網走定点(5/21)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

網走定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス アキュミナータが少数出現しています。

網走定点の表面水温は8.0°C、30m層の水温は5.6°Cでした。

(担当:平野和夫・清河 進)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC14)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年5月18日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
増毛 (16.0)	5/14	0	9.9	33.64	0	0	0	0
		10	8.9	33.88	0	0	0	0
		15	8.5	33.98	0	0	0	0
		20	7.9	33.97	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ

コメント

5月上旬の増毛海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

5月上旬の増毛海域では、下痢性貝毒プランクトンは出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB 6)

(オホーツク海域・能取湖)

2012年5月16日

網走水産試験場調査研究部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (4.6)	5/15	0	8.8	30.99	0	0	30	0	
		10	7.0	32.11	0	0	580	10	Dn

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

能取湖定点(5/15)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

能取湖定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス アキュミナータが最高580細胞/L出現しています。また、デイノフィシス ノルヴェジカが少数出現しています。下痢性貝毒の毒性値に注意が必要です。

能取湖定点の表面水温は8.8°C、10m層の水温は7.0°Cでした。

(担当:平野和夫・清河 進)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK10)

(函館水試担当地区)

2012年5月15日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 3.0	5/8	0	7.8	30.76	10	0	0	20	0	Dn10
		10	4.2	32.51	0	10	0	0	10	
		20	3.4	32.63	0	0	0	0	0	
		30	3.5	32.66	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 4.0	5/7	0	8.4	28.15	80	0	0	270	70	Dn70
		5	7.6	30.85	10	0	0	250	80	Dn80
		10	7.2	31.23	0	0	0	0	0	
		15	6.8	31.45	0	0	0	0	0	
		20	5.2	32.00	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 7.6	5/14	0	10.3	30.29	60	0	0	160	20	Dn20
		5	8.0	31.11	0	0	0	230	20	Dn20
		10	6.9	31.29	40	0	0	30	20	Dn20
		15	5.3	32.02	0	30	0	10	130	Dn130
		20	4.6	32.51	0	30	0	0	30	Dn30
		25	3.7	32.76	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 7.0	5/10	0	10.4	33.45	0	0	0	0	0	
		10	10.1	33.57	0	0	0	0	0	
		20	10.0	33.59	0	0	0	0	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 フロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテユンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

水温は5月上～中旬は、太平洋中部では3.5～7.8°C、噴火湾東部では4.2～8.4°C、噴火湾西部では3.6～10.3°C、津軽海峡では10.0～10.4°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC13)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年5月15日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払	5/8	0	8.1	33.28	0	0	10	10	Dro
-		10	8.1	33.34	0	0	0	0	
		15	8.1	33.34	0	0	0	0	
		20	8.0	33.39	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ

コメント

5月上旬の猿払海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、猿払でデイノフィシス・アキュミナータおよび
デイノフィシス・ロツンダータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC12)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2012年5月9日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
常呂 (9.0)	5/7	0	8.5	32.82	0	0	40	0	
		10	8.0	32.85	0	0	110	0	
		20	6.9	33.43	0	0	50	0	
		30	6.6	33.61	0	0	20	0	
サロマ湖 (6.0)	5/7	0	9.5	31.50	0	0	50	0	
		3	9.2	31.50	0	0	30	0	
		6	8.3	31.61	0	0	30	0	
		9	4.9	30.80	0	0	10	0	
		12	1.5	32.14	0	0	0	0	
		15	0.9	32.54	0	0	10	0	
厚岸 (1.0)	5/7	0	8.0	28.66	0	0	0	0	
		5	4.6	31.29	0	0	0	0	
		10	3.8	31.90	0	0	0	10	Dn
		13	3.4	32.07	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス
 Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)
 Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ
 Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ
 Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウヰンガ

コメント

5月上旬の網走中部(常呂)、サロマ湖および太平洋東部(厚岸)では麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、常呂とサロマ湖でディノフィシス・アキュミナータが、厚岸でディノフィシス・ノルウヰンガが、出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK9)

(函館水試担当地区)

2012年5月2日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 2.5	4/25	0	7.1	28.32	0	0	0	20	0	
		10	2.0	32.34	0	0	0	0	0	
		20	1.7	32.52	0	0	0	0	30	Dn30
		30	1.7	32.52	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 6.3	4/23	0	5.7	32.00	0	0	0	0	0	
		5	5.1	32.18	0	0	0	0	0	
		10	5.1	32.23	0	0	0	0	0	
		15	5.1	32.29	0	0	0	0	10	Dn10
		20	5.0	32.42	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 9.0	4/25	0	7.6	27.81	40	0	0	0	0	
		10	4.0	32.59	0	0	0	0	0	
		20	3.7	32.67	0	20	0	0	0	
		30	3.4	32.77	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 8.5	5/1	0	8.7	30.64	160	0	0	30	0	
		10	5.9	32.25	0	0	0	0	0	
		20	4.4	32.59	10	0	0	0	0	
		30	4.0	32.77	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 フロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロテユンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

水温は4月下旬～5月上旬は、太平洋中部では1.7～7.1°C、噴火湾東部では4.6～5.7°C、噴火湾西部では4.0～8.7°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB 5)

(オホーツク海域・能取湖)

2012年5月7日

網走水産試験場調査研究部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (3.6)	4/27	0	3.9	32.06	0	0	30	0	
		10	3.5	31.88	0	0	10	10	Drt

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンダリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンダリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティイ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェイジカ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

能取湖定点(4/27)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

能取湖定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス アキュミナータとデイノフィシス ロツンダータが少数出現しています。

能取湖定点の表面水温は3.9°C、10m層の水温は3.5°Cでした。

(担当:平野和夫・清河 進)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK9)

(函館水試担当地区)

2012年5月2日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 2.5	4/25	0	7.1	28.32	0	0	0	20	0	
		10	2.0	32.34	0	0	0	0	0	
		20	1.7	32.52	0	0	0	0	30	Dn30
		30	1.7	32.52	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 6.3	4/23	0	5.7	32.00	0	0	0	0	0	
		5	5.1	32.18	0	0	0	0	0	
		10	5.1	32.23	0	0	0	0	0	
		15	5.1	32.29	0	0	0	0	10	Dn10
		20	5.0	32.42	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 9.0	4/25	0	7.6	27.81	40	0	0	0	0	
		10	4.0	32.59	0	0	0	0	0	
		20	3.7	32.67	0	20	0	0	0	
		30	3.4	32.77	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 8.5	5/1	0	8.7	30.64	160	0	0	30	0	
		10	5.9	32.25	0	0	0	0	0	
		20	4.4	32.59	10	0	0	0	0	
		30	4.0	32.77	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 フロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロテユンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

水温は4月下旬～5月上旬は、太平洋中部では1.7～7.1°C、噴火湾東部では4.6～5.7°C、噴火湾西部では4.0～8.7°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC11)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年5月1日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			Dro
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (9.0)	4/25	0	8.5	31.16	0	0	0	0	
		10	7.9	32.62	0	0	0	0	
		20	7.9	33.04	0	0	30	10	
		30	8.0	33.24	0	10	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ

コメント

4月下旬の増毛海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、増毛でデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータおよびデイノフィシス・ロツンダータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC10)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年4月27日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
江差 (6.0)	4/25	0	11.5	31.30	0	0	0	0
		10	9.5	33.23	0	0	10	0
		20	8.9	33.78	0	0	10	0
		30	8.5	33.91	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ=旧名 フロコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ

コメント

4月下旬の日本海南部(江差)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、江差でデイノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC9)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2012年4月25日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (5.5)	4/20	0	9.1	31.76	0	0	0	0	
		10	8.9	33.92	0	0	0	0	
		20	8.8	34.06	0	0	10	0	
		30	8.4	34.04	0	0	0	0	
常呂 (15.0)	4/23	0	5.6	29.52	0	0	0	0	
		10	6.1	31.91	0	0	20	0	
		20	6.3	33.61	0	0	20	0	
		30	5.7	33.83	0	0	10	0	
サロマ湖 (2.0)	4/23	0	3.8	28.80	0	0	0	0	
		3	3.6	29.04	0	0	0	0	
		6	1.3	31.42	0	0	0	0	
		9	0.0	32.32	0	0	0	0	
		12	-0.2	32.46	0	0	0	0	
		15	-1.3	32.52	0	0	0	0	
標津 (-)	4/24	0	-	-	0	0	0	0	
		5	-	-	0	0	0	0	
		10	-	-	0	0	0	0	
		15	-	-	0	0	0	0	
厚岸 (2.1)	4/23	0	4.7	29.97	0	0	0	10	Dn
		5	3.7	30.62	0	0	0	10	Dn
		10	1.9	32.08	0	0	0	0	
		13	1.7	32.17	0	0	0	0	

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii*ディノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata*ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata*ディノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula*ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra*ディノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica*ディノフィシス・ノルヴェジカ

コメント

4月中旬～下旬の日本海南部(江差)、網走中部(常呂)、サロマ湖、根室海峡(標津)および太平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、江差と常呂でディノフィシス・アキュミナータが、厚岸でディノフィシス・ノルヴェジカが、それぞれわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK8)

(函館水試担当地区)

2012年4月23日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 3.0	4/19	0	3.8	29.64	0	0	0	0	0	
		10	1.8	32.54	0	0	0	0	0	
		20	1.7	32.61	0	0	0	0	0	
		30	1.6	32.63	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 6.9	4/12	0	3.8	31.60	20	10	0	80	0	
		5	3.4	32.77	0	0	0	120	0	
		10	2.9	32.91	10	30	0	10	0	
		15	2.7	32.95	20	40	0	0	0	
		20	2.6	33.03	0	0	0	0	0	
		25	2.6	33.23	0	0	0	0	0	
鹿部 噴火湾湾口部 8.0	4/20	0	4.4	32.85	0	0	0	0	0	
		5	3.6	32.96	0	0	0	0	0	
		10	4.0	33.06	0	10	0	30	0	
		15	2.8	33.00	0	0	0	0	0	
		20	3.4	33.11	0	0	0	0	0	
		25	3.4	33.14	0	0	0	0	0	
		30	3.4	33.14	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 13.0	4/11	0	8.0	33.87	0	0	0	0	0	
		10	8.0	33.88	0	0	0	10	0	
		20	8.0	33.89	0	0	0	0	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii デイノフィシス フォルティイ; D.acum.=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス ノルウェーガ, Dt= Dinophysis tripos デイノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス ロトンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部、津軽海峡に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部には出現していません。

水温は4月中旬は、太平洋中部では1.6~3.8°C、噴火湾西部では2.6~3.8°C、噴火湾湾口部では2.8~4.4°C、津軽海峡では8.0°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB 4)

(オホーツク海域・能取湖)

2012年4月23日

網走水産試験場調査研究部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (2.7)	4/19	0	3.2	28.20	0	0	0	10 Dn	
		10	-0.2	32.30	0	0	0	0	

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトゴニオラククス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

能取湖定点(4/19)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

能取湖定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス ノルヴェジカが少数出現しています。

能取湖定点の表面水温は3.2°C、10m層の水温は-0.2°Cでした。

(担当:平野和夫・清河 進)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC8)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年4月19日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払 (-)	4/17	0	4.2	33.55	0	0	30	0
		10	4.2	33.57	0	0	10	0
		15	4.2	33.57	0	0	10	0
		20	4.2	33.57	0	0	10	0
浜益 (-)	4/18	0	5.6	29.52	0	0	30	0
		10	6.1	31.91	0	0	10	0
		20	6.3	33.61	0	0	0	0
		30	5.7	33.83	0	0	0	0
標津 (3.5)	4/16	0	1.2	30.87	0	0	0	0
		5	-0.7	32.08	0	0	0	0
		10	-0.7	32.07	0	0	0	0
		15	-0.7	32.07	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス・ノルウェジカ

コメント

猿払と浜益で下痢性貝毒プランクトンのディノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒フランクtonモニタリング速報(AB 3)

(オホーツク海域・能取湖)

2012年4月18日

網走水産試験場調査研究部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
紋別 (5.0)	4/16	0	2.9	30.50	0	0	0	0
		15	-1.1	32.40	0	0	0	0
		25	-0.7	32.60	0	0	0	0
		B(36.8)	-0.7	32.60	0	0	0	0

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェーガ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

紋別定点(4/16)では麻痺性および下痢性貝毒フランクtonは出現していません。

紋別定点の表面水温は2.9°C、底層(36.8m)の水温は-0.7°Cでした。

(担当:平野和夫・清河 進)

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB 2)

(オホーツク海域・能取湖)

2012年4月13日

網走水産試験場調査研究部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
頓別	4/11	0	1.9	33.73	0	0	0	0
(-)		10	1.9	33.79	0	0	0	0
		20	2.0	33.81	0	0	0	0
		30	2.0	33.85	0	0	10	0

At = *Alexandrium tamarense* アレキサントリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサントリウム・アフィネ(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

頓別定点(4/11)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

頓別定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス アキュミナータ が少数出現しています。

頓別定点の表面水温は1.9°C、30m層の水温は2.0°Cでした。

(担当:平野和夫・清河 進)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC7)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年4月12日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
常呂 (18.0)	4/9	0	-0.2	32.71	0	0	0	0
		10	-0.4	32.73	0	0	0	0
		20	-0.2	32.85	0	0	0	0
		30	-0.1	32.90	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 *プロトコニオラックス・タマレンシス*

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ

コメント

麻痺性および下痢性貝毒プランクトンは出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK7)

(函館水試担当地区)

2012年4月10日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 6.0	4/9	0	2.9	32.76	0	0	0	0	0	
		5	2.9	32.86	0	0	0	10	0	
		10	3.0	32.92	0	0	0	0	0	
		15	3.0	32.93	0	0	0	0	0	
		20	2.9	32.92	0	0	0	0	10	Dn10
森 噴火湾西部 7.0	4/5	0	2.5	32.90	0	10	0	30	10	Dro10
		10	2.5	32.90	0	10	0	40	10	Dn10
		20	2.4	32.90	10	0	0	30	10	Dn10
		30	2.4	32.95	0	0	0	40	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルトイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

水温は4月初旬は、噴火湾東部では2.5~3.0°C、噴火湾西部では2.4~2.5°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒フランクtonモニタリング速報(AB 1)

(オホーツク海域・能取湖)

2012年4月10日

網走水産試験場調査研究部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
網走 (11.0)	4/9	0	-0.1	32.14	0	0	0	0
		10	-0.7	32.50	0	0	0	0
		20	-0.4	32.66	0	0	0	0
		30	-0.3	32.81	0	0	0	0

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェーガ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

網走定点(4/9)では麻痺性および下痢性貝毒フランクtonは出現していません。

網走定点の表面水温は-0.1°C、30m層の水温は-0.3°Cでした。

(担当:平野和夫・清河 進)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC6)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年4月6日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (2.0)	4/3	0	1.1	31.75	0	0	0	0
		5	0.8	32.06	0	0	0	0
		10	0.5	32.26	0	0	0	0
		13	0.2	32.46	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 *Prorocentrum tamarense*

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ

コメント

麻痺性および下痢性貝毒プランクトンは、厚岸で出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK6)

(函館水試担当地区)

2012年3月30日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲 噴火湾西部 4.5	3/16	0	3.0	32.96	10	0	0	10	0	
		5	2.6	33.00	0	10	0	50	0	
		10	2.6	33.03	20	0	0	40	0	
		15	2.7	33.07	10	0	0	40	0	
		20	2.6	33.10	10	20	0	50	0	
		25	2.5	33.15	30	10	0	0	0	
森 噴火湾西部 5.5	3/15	0	2.6	32.80	0	10	0	30	0	
		10	2.5	33.23	10	0	0	0	0	
		20	2.5	33.25	10	10	0	0	0	
		30	2.5	33.26	10	0	0	0	0	
		知内 津軽海峡 10.0	3/19	0	6.6	33.87	0	0	0	10
10	6.7	33.85		0	0	0	10	0		
20	6.7	33.84		0	0	0	0	0		

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム=旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部、津軽海峡に出現しています。

水温は3月中旬は、噴火湾西部では2.3~3.0°C、津軽海峡では6.6~6.7°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC5)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2012年3月30日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
増毛 (10.0)	3/14	0	4.5	33.93	0	0	0	0
		10	4.5	33.97	0	0	0	0
		20	4.4	33.96	0	0	0	0
		30	4.5	33.95	0	0	0	0
標津 (1.7)	3/27	0	-	-	0	0	0	0
		5	-	-	0	0	0	0
		10	-	-	0	0	0	0
		15	-	-	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ

コメント

3月中～下旬の日本海北部(増毛)および根室海峡(標津)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しております。

(担当:海洋環境グループ 嶋田 宏、品田晃良)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK5)

(函館水試担当地区)

2012年3月29日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
鹿部	3/23	0	2.3	33.06	0	0	0	30	0	
噴火湾湾口部 5.0		5	2.3	32.96	0	0	0	0	0	
		10	2.1	32.96	10	0	0	20	0	
		15	2.1	32.95	20	0	0	0	0	
		20	2.1	32.95	0	0	0	0	0	
		25	2.1	32.96	0	0	0	0	0	
		30	2.1	32.95	10	0	0	20	0	
		40	2.1	32.97	10	0	0	20	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部に出現しています。

水温は3月下旬は、噴火湾湾口部では2.1～2.3°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC4)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2012年3月12日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
増毛 (10.0)	2/23	0	4.6	33.92	0	0	0	0
		10	4.6	33.98	0	0	0	0
		20	4.7	34.00	0	0	0	0
		30	4.6	33.99	0	0	0	0
厚岸 (1.7)	3/8	0	-1.1	31.98	0	0	10	0
		5	-1.2	32.11	0	0	0	0
		10	-1.3	32.18	0	0	0	0
		13	-1.3	32.18	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ

コメント

2月下旬～3月上旬の日本海北部(増毛)および太平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、厚岸でデイノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しております。

(担当:海洋環境グループ 嶋田 宏、品田晃良)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK4)

(函館水試担当地区)

2012年3月8日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	3/5	0	0.9	32.87	0	0	0	0	0	
太平洋中部 11.0		10	1.0	32.93	0	0	0	0	0	
		20	1.0	32.93	0	0	0	0	0	
		30	1.0	32.95	0	0	0	0	0	
虻田	3/5	0	2.5	32.82	0	0	0	0	0	
噴火湾東部 8.0		5	2.5	33.13	0	0	0	10	0	
		10	2.6	33.17	0	0	0	0	0	
		15	2.5	33.17	0	0	0	0	0	
		20	2.6	33.21	0	0	0	0	0	
		25	2.7	33.23	0	0	0	0	0	
知内	2/28	0	6.5	33.76	0	0	0	0	0	
津軽海峡 11.0		10	6.5	33.79	0	0	0	0	0	
		20	6.5	33.79	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* テイノフィシス フォルティイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* テイノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* テイノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* テイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* テイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* テイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* テイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* テイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* テイノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現しています。

水温は3月上旬は、太平洋中部では0.9~1.0°C、噴火湾東部では2.5~2.7°C、2月下旬の津軽海峡では6.5°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK3)

(函館水試担当地区)

2012年2月17日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					<i>At</i> 細胞/L	<i>A.o.</i> 細胞/L	<i>D.fortii</i> 細胞/L	<i>D.acum.</i> 細胞/L	<i>D</i> 属の他種 細胞/L	
八雲	2/14	0	2.4	33.18	0	0	0	10	0	
噴火湾西部		5	2.2	33.24	0	0	0	10	0	
9.0		10	2.3	33.25	0	0	0	0	0	
		15	2.4	33.26	0	20	0	0	0	
		20	2.4	33.26	0	0	0	0	0	
		25	2.6	33.29	0	0	0	0	0	
		30	2.6	33.30	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコオラックス, *At*=Alexandrium tamarense, *Ao*=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, *Dt*= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, *Dc*=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, *Dru*=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

水温は2月中旬は、噴火湾西部では2.2~2.6°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC3)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2012年2月15日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
増毛 (10.0)	2/1	0	3.9	33.67	0	0	0	0
		10	4.5	33.86	0	0	0	0
		20	4.5	33.86	0	0	0	0
		30	4.5	33.87	0	0	0	0
標津 (-)	2/10	0	-1.3	31.73	0	0	0	0
		5	-1.3	31.74	0	0	0	0
		10	-1.3	31.74	0	0	0	0
		15	-1.3	31.75	0	0	0	0
厚岸 (4.0)	2/13	0	-1.6	31.91	0	0	0	0
		5	-1.5	32.18	0	0	0	0
		10	-1.4	32.19	0	0	0	0
		13	-1.4	32.20	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ

コメント

2月上～中旬の日本海北部(増毛)、根室海峡(標津)および太平洋東部(厚岸)海域では、麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しております。

(担当:海洋環境グループ 嶋田 宏、品田晃良)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK2)

(函館水試担当地区)

2012年2月13日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	2/6	0	1.0	32.41	0	0	0	20	0	
太平洋中部 6.5		10	1.2	32.53	0	0	0	10	0	
		20	1.2	32.55	0	0	0	0	0	
		30	1.2	32.55	0	0	0	0	0	
虻田	2/6	0	1.8	31.30	0	0	0	0	0	
噴火湾東部 6.0		5	2.4	32.89	0	0	0	0	0	
		10	2.5	32.94	0	0	0	0	0	
		15	2.5	32.95	0	0	0	0	0	
		20	3.0	33.08	0	0	0	0	0	
		25	3.4	33.14	0	0	0	0	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルトゥイ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部には出現していません。

水温は2月上旬は、太平洋中部では1.0~1.2°C、噴火湾東部では1.8~3.4°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK1)

(函館水試担当地区)

2012年1月23日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	1/10	0	4.3	32.92	0	0	0	0	0	
太平洋中部 13.0		10	4.3	32.96	0	0	0	20	10	Dru10
		20	4.4	32.95	0	0	0	0	0	
		30	4.4	32.98	0	0	0	0	0	
虻田	1/10	0	6.0	33.51	0	0	0	0	0	
噴火湾東部 12.0		5	6.0	33.59	0	0	0	0	0	
		10	6.0	33.59	0	0	0	0	0	
		15	6.0	33.60	0	0	0	0	0	
		20	6.0	33.61	0	0	0	0	0	
		25	6.0	33.59	0	0	0	0	0	
八雲	1/19	0	4.3	33.59	0	0	0	0	0	
噴火湾西部 11.0		5	4.3	33.61	0	0	0	0	0	
		10	4.5	33.64	0	0	0	0	0	
		15	4.5	33.64	0	0	0	10	0	
		20	4.6	33.68	0	0	0	0	0	
		25	5.0	33.72	0	0	0	0	0	
	30	5.0	33.72	0	0	0	0	0		
知内	1/16	0	8.5	33.86	0	0	0	0	0	
津軽海峡		10	8.5	33.89	0	0	0	0	0	
		20	8.5	33.88	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス アキュミナータ
Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトゴニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*
Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス
Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ
Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ
Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテユンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部、津軽海峡には出現していません。

水温は1月中旬は、太平洋中部では4.3~4.4°C、噴火湾東部では6.0°C、噴火湾西部は4.3~5.0°C、津軽海峡8.5°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC2)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2012年1月23日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
増毛 (10.0)	12/22	0	7.7	33.71	0	0	0	0
		10	7.7	33.72	0	0	0	0
		20	7.7	33.72	0	0	0	0
		30	7.7	33.73	0	0	0	0
増毛 (10.0)	1/17	0	5.2	33.82	0	0	0	0
		10	5.2	33.83	0	0	0	0
		20	5.3	33.87	0	0	0	0
		30	5.3	33.89	0	0	0	0
標津 (6.0)	1/17	0	1.6	32.07	0	0	30	0
		5	1.6	32.06	0	0	10	0
		10	1.6	32.06	0	0	0	0
		15	1.6	32.06	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ

コメント

12月下旬の日本海北部(増毛)海域および1月中旬の日本海北部(増毛)および根室海峡(標津)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、標津でデイノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しております。

(担当:海洋環境グループ 嶋田 宏、品田晃良)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC1)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2012年1月18日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (6.0)	1/16	0	-0.8	32.10	0	0	10	0
		5	-0.7	32.17	0	0	0	0
		10	0.6	32.34	0	0	20	0
		13	0.7	32.34	0	0	50	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ

コメント

1月中旬の太平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータが少し出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しております。

(担当:海洋環境グループ 嶋田 宏、品田晃良)